

道徳科調査資料 作成の観点

書名	<div style="font-size: 2em; letter-spacing: 1em;">○○○○ ○○○○○</div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
項目		
内 容	<p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳的価値の意義及びその大切さなどを自分との関わりで理解させるために、どのような工夫が見られるか。 ○自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めさせるために、どのような工夫が見られるか。 ○自立した人間として他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性（道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と態度）を育成するために、どのような工夫が見られるか。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代的な課題についてどのように取り上げ、その解決に向けて考え続ける意欲や態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。 ○問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするために、どのような工夫が見られるか。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○発達の段階に即し、ねらいを達成する上で、どのような工夫が見られるか。 ○深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えるために、どのような工夫が見られるか。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を充実するために、どのような工夫が見られるか。 ○問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習に関して、どのような工夫が見られるか。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲を喚起するために、読み物教材にはどのような工夫が見られるか。 ○効果的に活用するために、挿絵や写真、図などにはどのような工夫が見られるか。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○教材の内容を把握しやすくさせるために、仮名遣いや用語などにはどのような工夫が見られるか。 ○主な記述（読み物教材など）と道徳科の内容項目との関係の示し方にはどのような工夫が見られるか。 	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<h1>新編 新しい道徳</h1>	<p>2</p> <p>東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭の「どんな学び方をするのかな？」では、1時間の学習を通して自己を見つめる際の考え方が例示されており、各教材末尾に投げかけの問いなどを掲載し、問題意識を喚起して、自分との関わりで主体的に学べるよう工夫されている。 ○教材文の中の多様な考えを阻害しかねない記述を削除し、価値を押し付けないよう工夫されている。「ちょっと話し合ってみよう！」では対話による学び方が示され、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ○心に残った教材や、これからの生活に活かしたいことを書くことができる「学習の記録」が巻末に設けられており、定期的に学習を振り返ることができるよう工夫されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代的・社会的課題であるテーマについて、他教科との連携や家庭との連携、自分のできることを考えるコラムと教材を組み合わせ、課題解決のための意欲を高められるよう工夫されている。 ○いじめの問題について、いじめ場面を直接的に扱う教材と、関係する道徳的価値から間接的に考える教材の2教材とコラムを組み合わせ、様々な側面から考えられるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年生におけるスタートカリキュラムへの対応、身近な教材文、多様な資料から自己の生き方について考えるものへと教材や形式が工夫されている。 ○「いじめ」「いのち（生命の尊厳）」「じぶん（自己肯定感）」を全学年同時期に配当し、生命の尊さや自分のよさや可能性について見つめられるよう工夫されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを可視化する思考ツールを示し、4年生以降は「心情円」が付録として切り取って使えるよう工夫されている。 ○3年生以上に「問題を見つけて考えよう」や「演じて考えよう」の欄を設け、多様な指導方法でねらいにせまれるよう工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や挿絵などのビジュアルから考える教材があり、学習意欲が高まるよう工夫されている。大きい挿絵や見開きの写真を掲載した教材がある。 ○教材理解が深まるように、場面絵に合わせて朗読音声が出るスライドショーなどのQRコンテンツが用意されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生は教材の初出のカタカナにルビが振られている。漢字については、1年生は数字のみ、2年生からは前学年までに習った漢字を使用し、固有名詞など当該学年以上の配当漢字は教材ごとにルビが振られている。難解な語句や必要な情報が掲載されている箇所には、脚注で解説されている。 ○教材ごとに学習指導要領の4つの視点がマークで示されている。索引は4つの視点を色分けして示されており、内容項目ごとに分類して示されている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教材冒頭はシンプルに構成され、実態に応じ柔軟に使用できるよう工夫されている。 ○体験的な学習や思考ツールの紹介、問題解決的な学習指導過程を提案するページを設け、深い学びにつながるよう工夫されている。 ○詩、大きい挿絵や見開きの写真、漫画教材、スポーツ選手、先人の伝記を題材にした教材がある。 	

<p>書名 項目</p>	<p>小学道徳 はばたこう明日へ</p>	<p>17 教出</p>
<p>内 容</p>	<p><道徳科の目標に関わる工夫> ○巻頭には見通しをもち学習に取り組めるよう学びのガイダンスを設け、各教材冒頭には主題を掲載し道徳的価値の方向性を明確にするとともに投げかけの言葉を示し、問題意識を高め自分との関わりで考えられるよう工夫されている。 ○「学習のてびき」には様々な問いが設けられ、多様な視点から物事を見つめ、考えられるよう工夫されている。学習内容の補足や教材に関するコラムが掲載され、教材内容を多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ○教材の最後に自己評価を記入できる「まなびチェック」や巻末に心に残った教材とその理由を6教材分記入できる欄があり、定期的に学習を振り返り成長を実感できるよう工夫されている。</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○現代的な課題であるSDGs等に関連する教材や資料を組み合わせ、テーマとして学びを広げ、現代社会が抱える問題について一人一人が課題を発見し、考えを深められるよう工夫されている。 ○「いじめ問題」「情報モラル」について全学年で重点テーマとして、教材とコラムを組み合わせ、児童の発達の段階や生活環境に即して、様々な視点で問題に対して考えられるよう工夫されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○各学年で重点テーマを設定し、児童の成長が見取れるよう、同じ内容項目の教材を、時期を変えて複数回学習できるよう工夫されている。 ○低学年は物語教材、中学年は生活教材、高学年は人物の生き方から学ぶ教材を多く取り上げ、発達の段階に合わせて自分の生き方を考えられるよう工夫されている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○二種類の考えを深め、議論するための発問と中心的発問を明確に示し、ねらいとする道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。 ○教材に応じて、「問題を解決しよう」「やってみよう」欄が設けられ、問題解決型や体験型の学習ができるよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○現在活躍している人物や先人、スポーツ選手などのテーマが取り上げられている。イラスト形式、漫画形式の教材があり、学習意欲が高まるよう工夫されている。 ○教材の解説や関連図書の紹介、参考になるWebサイトなどが見られるQRコードが掲載されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○1年生は全てのカタカナにルビが振られている。漢字については、1年生は数字のみ、2年生からは当該学年の配当漢字までを使用し、固有名詞などの当該学年以上の漢字の全てにルビが振られている。難解な語句や必要な情報が掲載されている箇所には、脚注で解説されている。 ○教材ごとに学習指導要領の4つの視点がマークで示されている。索引は4つの視点を色分けして示し、内容項目ごとに分類して示されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「学習のてびき」を掲載し、考え、議論する授業が展開できるよう工夫されている。 ○個別学習、共働学習、家庭学習に使用できるデジタル教材「まなびリンク」を設け、興味・関心を高め、学習に取り組めるよう工夫されている。 ○絵本や詩、一枚絵から考える教材、漫画教材、スポーツ選手、先人の伝記を題材にした教材がある。</p>	

書名 項目	道徳 きみが いちばん ひかるとき	38 光村
内 容	<p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭には「何を学ぶ教科なのか」「一年間の学びの流れ」が掲載され、教材冒頭には呼びかけの言葉を示し、自分との関わりで主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○学習のてびき「考えよう・話し合おう」には考えたり話し合ったりするための発問が提示され、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。対話の力を育む構成と「考えるヒント」の手立てにより、考えを引き出し深められるよう工夫されている。 ○巻末に、全時間分の学びの記録と「考える」「聞く」「今後の生活」に関する3種類のシールを選択・蓄積することにより、1年後には道徳性の成長の記録を自己評価できるよう工夫されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童がSDGsを自分のこととして考えられるよう、発達の段階に即した話題を教材として取り上げ、自分の生き方と関わらせながら考えが深められるよう工夫されている。 ○現代的な課題と向き合う4つのテーマについて、「よびかけ」「教材」「コラム」という一連の流れを全学年で統一し、テーマについて問題意識をもって取り組み、探究できるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学年に掲載の「道徳が始まるよ」や6年間を通して「いじめ問題」「情報モラル」について考えられる構成により、学びを見通し意欲を高めるよう工夫されている。 ○全学年「生命の尊さ」に重点を置き、全学年3つの教材が配置され、詩や日常生活の中から、児童が生命の尊さを実感できるよう工夫されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○付録「学びの道具箱」に授業で活用できるツールが掲載され、自分の考えを整理したり、友達と話し合ったりできるよう工夫されている。 ○問いを3つのステップで構造化し、主体的に話し合い、考えが段階的に深まっていくよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○実話、先人の伝記、スポーツ選手などのテーマが取り上げられ、学習意欲を喚起するよう工夫されている。読み物とは異なる形式の教材がある。 ○教材で取り上げた人物のインタビュー動画や声優による音声朗読などがQRコードコンテンツとして用意されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生は教材の初出のカタカナにルビが振られている。漢字については、1年生は数字のみ、2年生からは当該学年の配当漢字までを使用し、2年生以上で当該学年の配当漢字全てにルビが振られている。難解な語句や必要な情報が掲載されている箇所には、脚注で解説されている。 ○教材ごとに学習指導要領の4つの視点がマークで示されている。目次と索引は4つの視点を色分けして示し、索引は内容項目ごとに分類して示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のつながりに配慮し、児童が考えを広げ、深められるよう工夫されている。 ○教材末には「考えよう・話し合おう」を設け、学んだことを自分との関わりで考え、問題解決的な学習につながる発問になるよう工夫されている。 ○絵本や詩、一枚絵から考える教材、漫画教材、スポーツ選手、先人の伝記を題材にした教材がある。 	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">小学道徳 生きる力</p> <p style="text-align: center;">小学道徳 生きる力 道徳ノート</p>	<p style="text-align: center;">1 1 6</p> <p style="text-align: center;">日 文</p>
<p>内 容</p>	<p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭の「道徳のとびら」「道徳の学び方」にどのようなことを学ぶ教科なのかを示し、教材冒頭にはリード文とともに自分との関わりで考えさせる問い掛けを掲載し、主体的に道徳的価値について理解を深められるよう工夫されている。 ○別冊「道徳ノート」に自分と異なる意見を記述する欄が設けられ、多様な考えを尊重できるよう工夫されている。発問例を載せないことで、様々な視点から改めて自分を見つめ、自分の言葉やイメージを表現できるよう工夫されている。 ○コラム「心のベンチ」では自己肯定感を高める活動や方法を紹介し、別冊の道徳ノートに自分や友達の意見をメモしたり、実生活に繋げて考えたりすることができるよう工夫されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻末に示したSDGsの17の目標とのつながりを考える教材から、多様な人々と協働し、諸課題を解決しようとする意欲やこれからのよりよい社会について考えられるよう工夫がされている。 ○いじめや情報モラル等のテーマを各学年に系統的に配列し、身の回りの事象から教材へと学びをつなげ、問題意識をもち、見方、考え方を広げられるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童の発達の段階を考慮した内容で、「保・幼、小、中」の校種間連携に配慮し、1年間及び6年間を通して、系統性を意識した構成となるよう工夫されている。 ○6年間を通して、コラム「心のベンチ」を設け、今の自分を見つめ、これからの自分へつなげられるよう工夫されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材冒頭に状況を端的に示した文言を掲載し、教材理解を促すとともに、ねらいに沿って話し合えるよう工夫されている。 ○「ぐっと深める」では、体験的な活動を通して、道徳的諸価値に対する理解を促すよう工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文学作品、スポーツ選手、芸術家などの幅広いテーマを取り上げている。児童に身近な生活場面を扱った教材があり、学習意欲を喚起するよう工夫されている。 ○QRコンテンツが用意され、実在する教材の主人公が登場する動画などから教材理解を深められるよう工夫されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生は全てのカタカナにルビが振られている。漢字については、当該学年の配当漢字までを使用し、当該学年以上の漢字やキーワード、固有名詞などがある場合には、ルビが振られている。難解な語句や必要な情報が掲載されている箇所には、脚注で解説されている。 ○教材ごとに学習指導要領の4つの視点がマークで示されている。目次や索引は4つの視点を色分けして示されており、索引は内容項目ごとに分類して示されている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教材ごとにリード文や3つの発問が掲載されており、学びの流れを分かりやすく示すことで児童が主体的に学べるように工夫されている。 ○別冊の「道徳ノート」は紙とデジタルの使い分けができ、実態に応じた授業展開で使うことができるよう工夫されている。 ○詩、漫画教材、スポーツ選手、先人の伝記を題材にした教材がある。 	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<h1 style="text-align: center;">小学道徳 ゆたかな心</h1>	<p style="text-align: center;">208</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">光 文</div>
<p>内 容</p>	<p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に「問いを見つけ、考え、まとめ・ふりかえり、ひろげ・つなげる」という学習の流れが紹介されており、教材冒頭には問い掛けを掲載し、主題にかかわる問題意識を喚起し、主体的に考えられるよう工夫されている。 ○共感や気付き、考えるポイントや考えを広めるための見方が設定され、多面的・多角的な思考を促すよう工夫されている。考えをまとめたり広めたりするための思考ツールが提示され、様々な角度から考えられるよう工夫されている。 ○巻末にある全時間分の振り返りを記述する「学びの足あと」では、児童が自分の学びを見つめ成長を実感し、新たな課題や目標を見つけることができるよう工夫されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○SDGs や情報モラルに関わる課題については、全学年に教材とコラムを設け、発達の段階を考慮した内容や目標を取り上げ、自分事として考えられるよう工夫されている。 ○特に考えさせたい内容について教材を連続した配列とし、発達段階に即してテーマを変えながら取り上げ、児童が課題について様々な視点から考えられるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○重点主題は、複数時間で構成され、心の成長が実感できるように低学年・中学年・高学年に応じて段階的に教材を配置するよう工夫されている。 ○「学年独自主題」では、発達の段階に応じて、「人間」を主としたテーマを設定し、よりよく生きることについて考え続けられるよう工夫されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な角度から考えられるよう発達段階に応じた思考ツールを掲載し、考えを視覚化したり、学習内容をまとめたりできるよう工夫されている。 ○全学年通しての共通コラムが設定されて、体験的な活動を通して、より良い人間関係が築けるような工夫がされている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実話、先人の伝記、スポーツなどのテーマを取り上げ、学習意欲を喚起するよう工夫されている。アニメや漫画教材、見開きの絵や写真を掲載した教材がある。 ○教材冒頭にあるQRコードから、教材理解を支援する写真や動画、参考Webサイトが見られるようになっている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生は全てのカタカナにルビが振られている。漢字については、1年生は数字のみ、2年生からは前学年までに習った漢字を使用し、3年生までは全ての漢字に、4年生からは当該学年以上の漢字にルビが振られている。難解な語句や必要な情報が掲載されている箇所には、脚注で解説されている。 ○教材ごとに学習指導要領の4つの視点がマークで示されている。索引については4つの視点を色分けして示されており、内容項目ごとに分類して示されている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○問いを見つける構成や考えたくなる教材で学びを広げられるよう工夫されている。 ○全学年にレジリエンスコラムを設け、困難を乗り越える「心の力」を理解し、自分らしくたくましく生きるための力を育めるよう工夫されている。 ○絵本、見開きの絵や写真、アニメや漫画教材、スポーツ選手、先人の伝記を題材にした教材がある。 	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<h1>新版 みんなの道徳</h1>	<p>224</p> <p>学 研</p>
<p>内 容</p>	<p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に一年間の学びの全体像や自分の考えを深めるポイントを掲載し、教材冒頭では主題名ではなくキーフレーズを掲載することで、児童が主体的に価値の意義や大切さへの理解を深め、自分との関わりで考えられるよう工夫されている。 ○「深めよう」では、授業の流れを示し、問題解決的な学習を通して、多面的・多角的に思考を広げられるよう工夫されている。「考えよう」では、より深く教材について考える発問が示され、自己を見つめて考えるきっかけになるよう工夫されている。 ○特設ページ「心のパスポート」では、書いたり読んだりすることで考えを深め、巻末にこれまでの振り返りや心に残った言葉などを記述し、学びを振り返られるよう工夫されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近なテーマとつながる「現代的な課題マーク」を各教材に示し、児童を取り巻く社会や環境に目を向けながら、自己の生き方について考えを深められるよう工夫されている。 ○「いのち」「多様性」「キャリア」の3つのテーマを、全学年で2教材を連続して学べるよう配置し、内容項目の異なる教材を取り上げることで、児童がよりよく生きることについて様々な側面から考えられるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○6年間を通して、巻末「つなげよう ひろげよう」では、自らの成長を感じ取り、次の学年へスムーズな移行ができるよう工夫されている。 ○「いのち」を最重点テーマとして、全学年で内容項目の異なる複数教材を組み合わせ、様々な視点から多様な学びを実現し、考えを深められるよう工夫されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材の発展的資料として「深めよう」が設置されており、自分の考えを基に文章を記述したり、話し合ったりできるよう工夫されている。 ○特設ページ「心のパスポート」では、教材での学習をもとに、自分につなげて考えたり、体験したり、話題を広げたりできるよう工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○現在活躍している人物や先人の生き方、児童の生活に関わることなど幅広いテーマが教材に取り上げられ、学習意欲を喚起できるよう工夫されている。 ○教材理解を助けるデジタルコンテンツが用意され、教材に関連したクイズ形式の動画などが見られるようになっている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生は全てのカタカナにルビが振られている。漢字については、当該学年の配当漢字までを使用し、当該学年の配当漢字や固有名詞は全ての漢字に、前学年までに習った漢字は教材の初出にルビが振られている。難解な語句や必要な情報が掲載されている箇所には、脚注で解説されている。 ○教材ごとに学習指導要領の4つの視点がマークで示されている。目次と索引については4つの視点を色分けして示し、索引は内容項目ごとに分類して示されている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○主題名を巻末に提示し、児童が問題意識を大切にしながら、自ら主体的に学びを深めることができるよう工夫されている。 ○「深めよう」「心のパスポート」を設け、多様な視点から身近な話題について考え、「考え、議論する道徳」を実現できるよう工夫されている。 ○詩、漫画教材、スポーツ選手、先人の伝記を題材にした教材がある。 	

道徳科 調査資料 2

○総ページ数

※「日文」は、道徳ノートが別冊となっている。

※ 目録掲載
の判型及び
ページ数

学年	東書	教出	光村	日文	光文	学研
判型	AB	AB	B5変型	AB	AB	AB
1年	146	161	135	154+46	162	142
2年	162	161	167	170+46	178	150
3年	178	169	185	186+46	186	158
4年	180	169	193	190+46	190	166
5年	188	185	197	186+46	194	162
6年	196	185	215	194+46	194	170

○教材総数及び内容項目の配当数

内容項目	学年	東書	教出	光村	日文	光文	学研
教材総数	1年	34	34	34	37	40	34
	2年	35	35	35	38	40	35
	3年	35	35	35	38	40	35
	4年	35	35	35	38	40	35
	5年	35	35	35	38	40	35
	6年	35	35	35	38	40	35
善悪の判断、自律、自由と責任	1年	2	2	2	3	2	3
	2年	2	2	2	3	2	3
	3年	2	2	2	3	2	3
	4年	2	2	2	3	2	3
	5年	2	2	2	2	2	3
	6年	1	2	2	2	2	3
正直、誠実	1年	1	2	2	1	2	1
	2年	2	2	2	2	1	2
	3年	1	2	2	1	1	1
	4年	2	2	2	1	1	1
	5年	1	1	2	1	2	1
	6年	1	1	1	1	1	1
節度、節制	1年	3	3	2	4	4	3
	2年	4	3	2	3	4	2
	3年	2	3	2	3	3	2
	4年	2	2	2	3	2	1
	5年	2	2	2	2	1	1
	6年	2	1	1	2	1	1
個性の伸長	1年	2	2	2	2	2	2
	2年	1	2	2	1	1	3
	3年	1	1	2	2	2	1
	4年	1	1	2	1	1	2
	5年	1	1	1	2	1	1
	6年	1	1	1	2	1	1
希望と勇気、努力と強い意志	1年	2	1	2	1	1	2
	2年	2	2	2	2	2	2
	3年	2	1	1	2	2	2
	4年	2	2	1	1	2	2
	5年	2	2	2	1	2	2
	6年	2	2	2	2	3	2
真理の探究	1年						
	2年						
	3年						
	4年						
	5年	1	2	1	1	1	1
	6年	1	1	1	1	1	1

内容項目	学年	東書	教出	光村	日文	光文	学研
親切、思いやり	1年	3	2	2	3	2	3
	2年	3	2	2	3	4	3
	3年	3	2	2	3	2	3
	4年	2	2	2	3	2	3
	5年	2	1	2	2	2	2
	6年	2	1	2	2	2	2
感謝	1年	2	2	2	1	2	1
	2年	1	2	2	2	1	1
	3年	1	2	2	2	2	1
	4年	1	2	2	1	2	1
	5年	1	1	2	1	1	1
	6年	1	2	2	2	1	1
礼儀	1年	2	2	2	2	3	2
	2年	2	2	2	3	2	2
	3年	1	2	1	2	2	1
	4年	1	2	1	2	1	1
	5年	1	1	1	1	1	1
	6年	1	1	1	1	1	1
友情、信頼	1年	2	2	2	2	2	2
	2年	2	2	2	1	3	2
	3年	3	2	2	2	3	3
	4年	3	2	2	2	3	3
	5年	2	2	2	3	2	2
	6年	2	3	2	2	2	2
相互理解、寛容	1年						
	2年						
	3年	1	1	2	1	2	1
	4年	1	2	2	2	3	1
	5年	1	1	2	2	2	2
	6年	1	1	2	2	2	2
規則の尊重	1年	3	2	2	3	3	2
	2年	2	2	2	3	2	2
	3年	2	2	2	3	3	2
	4年	2	1	2	3	2	2
	5年	2	2	2	2	2	1
	6年	2	1	2	2	2	2
公正、公平、 社会正義	1年	1	1	2	2	2	2
	2年	1	2	2	2	1	2
	3年	1	1	2	2	1	2
	4年	1	2	2	2	2	2
	5年	1	3	1	2	2	2
	6年	1	2	2	2	3	2
勤労、 公共の精神	1年	1	2	1	1	1	1
	2年	1	1	2	2	2	1
	3年	2	1	2	2	1	1
	4年	2	1	2	2	3	1
	5年	2	1	1	2	2	1
	6年	2	1	1	2	2	1
家族愛、 家庭生活の充実	1年	1	2	2	1	2	1
	2年	2	2	1	1	2	1
	3年	2	2	1	1	2	1
	4年	2	2	1	1	2	1
	5年	1	2	1	1	2	1
	6年	1	2	1	1	2	1
よりよい学校生 活、集団生活の 充実	1年	1	2	2	2	2	1
	2年	2	2	2	1	1	1
	3年	1	1	2	1	1	1
	4年	1	1	2	1	2	1
	5年	2	1	2	2	1	1
	6年	2	2	2	2	1	1

内容項目	学年	東書	教出	光村	日文	光文	学研
伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	1年	1	2	1	2	2	1
	2年	1	2	1	2	3	1
	3年	2	3	1	2	2	2
	4年	2	2	1	2	2	2
	5年	2	2	1	2	3	2
	6年	2	2	1	2	3	2
国際理解、国際親善	1年	1	1	1	2	1	1
	2年	1	1	1	1	2	1
	3年	1	2	1	1	2	2
	4年	1	1	1	2	1	2
	5年	2	2	1	2	2	2
	6年	2	2	1	2	2	2
生命の尊さ	1年	3	2	3	3	3	3
	2年	3	1	3	3	3	3
	3年	3	3	3	3	4	3
	4年	3	2	3	3	3	3
	5年	3	2	3	2	3	3
	6年	3	2	3	2	3	3
自然愛護	1年	2	1	1	1	2	2
	2年	2	2	1	1	2	2
	3年	2	1	1	1	2	1
	4年	2	2	1	2	3	2
	5年	2	2	1	1	2	2
	6年	2	2	1	1	2	2
感動、畏敬の念	1年	1	1	1	1	2	1
	2年	1	1	1	2	2	1
	3年	2	1	1	1	1	2
	4年	2	2	1	1	1	1
	5年	1	1	1	1	1	1
	6年	2	1	1	1	1	1
よりよく生きる喜び	1年						
	2年						
	3年						
	4年						
	5年	1	1	1	2	3	2
	6年	1	2	2	2	2	1

QRコードの数

※「日文」は、道徳ノートが別冊となっている。

学年	東書	教出	光村	日文	光文	学研
1年	40	38	21	40+43	10	13
2年	45	41	24	41+43	7	12
3年	53	61	31	43+44	10	11
4年	50	65	32	42+44	13	12
5年	56	73	28	41+44	14	11
6年	57	74	30	43+44	12	12

○教材総数及び内容項目の配当数

題材	学年	東書	教出	光村	日文	光文	学研
題材延べ数	1年	88	39	51	48	71	55
	2年	92	43	56	51	74	56
	3年	82	52	55	53	77	51
	4年	102	49	59	53	71	50
	5年	116	53	54	57	79	56
	6年	141	51	57	57	85	54
生命の尊厳	1年	6%	8%	6%	6%	3%	13%
	2年	5%	7%	5%	6%	5%	14%
	3年	5%	8%	5%	6%	5%	10%
	4年	6%	10%	5%	6%	4%	10%
	5年	4%	4%	7%	4%	8%	13%
	6年	6%	6%	7%	4%	13%	11%
自然	1年	8%	5%	2%	6%	3%	2%
	2年	5%	7%	4%	4%	7%	2%
	3年	4%	4%	5%	4%	3%	2%
	4年	5%	4%	5%	4%	3%	2%
	5年	4%	9%	4%	9%	4%	2%
	6年	4%	10%	2%	4%	6%	2%
伝統と文化	1年	2%	5%	2%	4%	4%	4%
	2年	3%	5%	4%	2%	4%	2%
	3年	7%	6%	2%	13%	4%	2%
	4年	1%	2%	3%	2%	4%	6%
	5年	3%	4%	6%	4%	4%	4%
	6年	3%	6%	2%	5%	4%	7%
先人の伝記	1年	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	2年	2%	0%	2%	2%	0%	0%
	3年	4%	0%	0%	0%	1%	2%
	4年	1%	2%	2%	2%	0%	4%
	5年	6%	8%	4%	5%	1%	4%
	6年	8%	6%	2%	5%	2%	6%
スポーツ	1年	1%	0%	2%	4%	1%	2%
	2年	2%	2%	2%	2%	1%	4%
	3年	2%	2%	0%	4%	3%	4%
	4年	3%	2%	3%	0%	4%	2%
	5年	2%	2%	0%	2%	1%	2%
	6年	1%	2%	2%	4%	2%	4%
現代的な課題 (いじめ)	1年	9%	15%	10%	25%	15%	22%
	2年	5%	12%	9%	24%	8%	14%
	3年	7%	15%	11%	19%	13%	18%
	4年	4%	6%	7%	17%	13%	16%
	5年	3%	8%	9%	21%	11%	14%
	6年	3%	12%	7%	21%	11%	13%
現代的な課題 (情報モラル)	1年	1%	3%	2%	4%	3%	2%
	2年	1%	2%	2%	6%	3%	2%
	3年	2%	4%	2%	4%	3%	2%
	4年	2%	4%	2%	4%	3%	2%
	5年	1%	6%	2%	9%	4%	4%
	6年	1%	6%	2%	9%	5%	4%
現代的な課題 (消費者教育、 防災教育等)	1年	23%	13%	14%	6%	25%	13%
	2年	22%	12%	11%	6%	26%	14%
	3年	13%	31%	11%	15%	25%	18%
	4年	17%	35%	12%	13%	24%	12%
	5年	16%	38%	11%	9%	15%	21%
	6年	18%	29%	2%	12%	15%	17%
その他 (上記以外)	1年	50%	51%	63%	44%	45%	44%
	2年	53%	53%	52%	49%	46%	48%
	3年	55%	31%	64%	38%	44%	43%
	4年	62%	35%	61%	53%	45%	46%
	5年	60%	28%	57%	39%	52%	38%
	6年	55%	24%	65%	37%	42%	37%

※ %は、当該学年で取り上げている題材延べ数に占める割合を示す。

☆ 現代的な課題等：いじめ、情報モラル、消費者教育、防災教育、食育、人権、環境など